

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
	全体計画	平成29年度 ~ 平成31年度			経費区分	実施計画事業費		内線	3622			
事務事業名	13515 米子瀑布群保存活用計画策定事業											
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課											
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費										
	事業	030000 米子瀑布群保存活用計画策定事業										
事業目的						事業概要・効果						
国指定名勝「米子瀑布群」について、保存活用計画を策定し、適切な保存と活用を図る。						保存活用の基本方針と具体的な手法、規制を定めて名勝の価値を活用しながら適切な活用の方向性をH29～H31年度の3か年で決める。 なお、今後の国庫補助を受けて整備にあたり「保存活用計画策定→整備基本計画策定→事業実施」必要な手順であり、文化庁に策定を明言している。 H32～新規事業「米子瀑布群整備基本計画策定事業」に移行する予定。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「米子瀑布群」の国指定名勝について、文化審議会より答申がされ、近日中に官報告示をもって正式に指定される見込み。	平成28年10月3日に官報告示をもって正式に指定された。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
保存活用計画を平成31年度までの3ヶ年で策定し、名勝の適切な保存と活用を図る（1年次） 当初予定どおり計画策定をすすめた。	保存活用計画の策定作業（2年次）
平成31年度 予定	平成32年度 予定
保存活用計画の策定完了（3年次）	整備基本計画の策定予定

指標名	無し				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		2,021	2,912
特定財源	国庫支出金	963	1,437
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,058	1,475
人員数(人)	正規職員	0.3	0.1
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,144.7	714.9
	嘱託職員	276.6	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,421.3	714.9
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,442.3	3,626.9

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	33	策定委員会委員報酬33
11節 需用費	20	消耗品費20
13節 委託費	1,836	保存活用計画策定業務委託1,836
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	132	旅費130、役務費(郵便料)2

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	74	策定委員会委員報酬49、調査謝礼25
11節 需用費	10	消耗品10
13節 委託費	2,668	保存活用計画策定等業務委託2,668
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	160	旅費157、役務費3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	文化財保護法に基づき計画を策定する	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	庁内連絡会議の開催など計画策定に向けて必要な調整を行っている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コンサルに委託し、職員の業務軽減に努めている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

計画策定初年度であったが、必要な組織体制などを整え、計画策定に向けて必要な調査・調整など実施できた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

総合評価コメント

保存活用計画を策定する中で、諸課題解決に向け、今後の整備内容について検討を進める。

2次評価コメント

米子瀑布群の保存と活用に向け、課題の整理と関係者の連絡調整を図る。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--